

学校支援地域本部事業訪問

本宮市訪問【和田小学校】

訪問日：平成27年12月21日（月） 10:15～11:00

場 所：本宮市立和田小学校

内 容：6年「戦争体験講話」での学習支援ボランティア

本日の学習は、本宮で戦争を体験した2名のボランティアの方からのお話でした。当時の空爆を受けた時の様子や戦時中の生活の様子など、実際に体験されたことで、言葉一つ一つに重みがあり、写真や動画などの資料からだけでは得られない内容でした。子どもたちにとって、戦争の悲惨さと平和の大切さを学ぶよい機会になりました。

ボランティアの声

両親はもちろん、祖母も戦争を知らない世代になってきました。戦争の恐ろしさ、悲惨さを伝えていかなければならないと思っています。子どもたちには、たくさんのことを学んで社会に貢献できる人になってほしいと思います。

当時の様子が目に焼き付いているので思い出したくありません。しかし、戦争を起こしてはならない、平和の大切さを伝えていかなければならないと思っています。子どもたちには、現在の豊かさにおぼれず、物を大切にしてほしいと思います。



児童の声

戦時中と違って食べ物もたくさんあるし、豊かになっています。今の時代に生きていることに感謝したいと思います。

戦時中の兜や水筒を身につけてみて、当時の生活のことがよくわかりました。とても勉強になりました。



本宮市では、平成21年度より学校支援地域本部を設置し、今年で6年目を迎えました。多くのボランティアの方が、学校支援を行っています。内容は学習支援、環境整備支援、部活動の支援、学校行事の支援などです。今回の学習支援では歴史資料館や図書館、地域の方から借りたたくさんの資料が準備されていました。また、ボランティアの方が自作の資料を準備されていました。これらのことから、学校とコーディネーターとの事前の打ち合わせが十分に行われていたことがうかがえました。平成21年度から始まった本宮市の学校支援地域本部事業が、しっかりと地域、学校に根付いていると感じました。